



必須問題試験(1日目午前)								
問	解答	※	問	解答	※	問	解答	※
1	3		31	5		61	2	
2	4		32	4		62	4	
3	1		33	2		63	1	
4	2		34	4		64	3	
5	3		35	2	※1	65	1	
6	3		36	2		66	2	
7	1		37	1		67	4	
8	1		38	3		68	2	
9	5		39	5		69	5	
10	2		40	3		70	2	
11	5		41	2		71	4	
12	5		42	2		72	5	
13	4		43	1		73	3	
14	5		44	1		74	4	
15	1		45	2		75	4	
16	1		46	3		76	5	
17	5		47	1		77	2	
18	2		48	3		78	3	
19	4		49	5		79	4	
20	3		50	4		80	1	
21	2		51	3		81	4	
22	3		52	4		82	2	
23	3		53	5		83	4	
24	1		54	5		84	3	
25	2		55	1		85	3	
26	5		56	3		86	2	
27	1		57	4		87	4	
28	2		58	2		88	1	
29	5		59	3		89	1	
30	3		60	2		90	3	※2

※ 備考

※1 選択肢中解答になり得るのは、2.アロプリノールのみであるが、フェブキソスタットやトピロキソスタットなどのキサンチンオキシダーゼ阻害薬と比べると、キサンチンオキシダーゼに対する選択性は低い。

そのため、問題文中の「選択的に阻害する」という薬物としてはフェブキソスタットやトピロキソスタットが該当し、アロプリノールを解答とするのは不適切とも考えられるため、解無しの可能性も否定できない。

※2 問題文中のCK(クレアチニンキナーゼ)は、CK(クレアチンキナーゼ)のことだと思われる。



一般問題試験(薬学理論問題 I)(1日目午後①)

問	解答	※	問	解答	※	問	解答	※
91	3		111	13		131	23	
92	12		112	34		132	12	
93	35		113	25		133	23	
94	2		114	6		134	13	
95	2		115	4		135	14	
96	34		116	14		136	25	
97	5		117	35		137	14	
98	1		118	23		138	14	
99	15		119	25		139	35	
100	35		120	14		140	24	
101	15		121	5		141	13	
102	12		122	15		142	2	
103	15		123	25		143	3	
104	3		124	13		144	15	
105	25		125	35		145	4	
106	3		126	34		146	13	
107	4		127	2		147	24	
108	34		128	34		148	25	
109	24		129	34		149	3	
110	25		130	4		150	3	

※ 備考



一般問題試験(薬学理論問題Ⅱ)(1日目午後②)								
問	解答	※	問	解答	※	問	解答	※
151	35		166	45		181	4	
152	14		167	14		182	14	
153	14		168	25		183	4	
154	24		169	3	※2	184	14	
155	12		170	13		185	34	
156	45		171	15		186	3	
157	12		172	35		187	34	
158	12		173	45		188	5	
159	24		174	2		189	12	
160	135	※1	175	3		190	134	※3
161	45		176	13		191	23	
162	14		177	34		192	23	
163	34		178	23		193	35	
164	12		179	12		194	14	
165	1		180	15		195	24	

※ 備考

※1 複数の選択肢が正解となる可能性がある。

※2 経口投与後の肝クリアランス低下前と低下後における投与量に関する記述がなく、設問が不明瞭であるため解無しの可能性がある。仮に、それぞれの投与量が同一投与量であったと仮定して計算すると解答は「3」となる。

※3 複数の選択肢が正解となる可能性がある。